



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第140号〉

～川谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～

地域に根つき、地域を守る消防団員が躍動!!

～第34回刈谷市消防操法競技会～



女性団員も活躍!

刈谷特別支援学校を設置へ

刈谷市立学校設置条例の一部改正について など14議案を可決

主な記事	ページ
主な議案	2
議決結果	3
委員会の動き	3
一般質問	4～7
特集記事	8
～議会を楽しく学ぼう!～ かりやっこページを解説～	

※県大会(8月5日碧南市)には、本市を代表して第17分団(今川地区)が出場

6月定例会のあらまし

この定例会は6月14日に招集され、会期17日間で、6月30日に閉会しました。今回は議案など21件が提出されました。

主な議案は、刈谷市立学校設置条例の一部改正について及び刈谷市税条例の一部改正についてなどです。

◆14日～16日 本会議

(議案の大綱説明、一般質問)

市長から提出された議案の大綱について説明を受けた後、17名の議員により36項目について一般質問が行われました。

◆16日 本会議

(議案説明・審議、委員会付託)

損害賠償の額を定める専決処分の報告などがありました。その後、刈谷市立学校設置条例の一部改正についてなど13議案の説明を受け、関係する委員会では審査することにしました。

次に、平成29年度刈谷市一般会計補正予算1議案について説明を受けた後、予算審査特別委

員会を設置して審査することにしました。

◆16日 予算審査特別委員会

予算議案は、各分科会を設置して審査することにしました。

◆20日～23日 委員会審査

議案や陳情が審査され、委員会での採決が行われました。

◆29日 予算審査特別委員会

分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。

◆30日 本会議(採決)

各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決しました結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

6月定例会での傍聴者数は延べ94人でした。

★傍聴をお待ちしています★

※8月臨時会の開催予定*

8月10日(木) 本会議

※9月定例会の開催予定*

8月24日(木) 議会運営委員会(運営を協議)

9月 6日(水) 本会議(開会、一般質問等)

7日(木) 本会議(一般質問)

8日(金) 本会議(一般質問、議案説明)

決算審査特別委員会・予算審査特別委員会

12日(火) 企画総務委員会

13日(水) 福祉産業委員会

14日(木) 建設委員会

15日(金) 市民文教委員会

26日(火) 決算審査特別委員会・予算審査特別委員会

議会運営委員会(運営を協議)

27日(水) 本会議(委員長報告・採決等)

各会議は10時から17時まで(進行状況等により、変更する場合があります)。

傍聴の際は、当日次の受付へ。

本会議：市役所10階、傍聴受付

委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)

臨時保育室「カンガールーム」をご利用できます。

傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局までご連絡ください。

○一般質問KATCH放映(106チャンネル)

9月12日(火)、14日(木)、20日(水)でいずれも18時から。

詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。



主な議案 6月 定例会

今回は、刈谷市立学校設置条例の一部改正について及び刈谷市税条例の一部改正についてなどです。

質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

報告案件

■平成28年度継続費の繰越しについて

継続費とは、数年度にわたり予算を支出するもので、完了までに期間を要する事業に適用します。

経費の総額や年割額はあらかじめ決められています、事業の進行状況により、順次繰り越して支出します。

◇一般会計◇

・小垣江東小学校大規模改修事業

・刈谷東中学校改築事業

・特別支援学校建設事業

・歴史博物館建設事業

・第一学校給食センター建設事業

継続費の総額

91億9,953万8千円

29年度への繰越額

22億7,542万8千円

■平成28年度繰越明許費の繰越しについて

繰越明許費とは、天候不順、交渉の不調などにより事業の完了が遅れた場合、翌年度に限り予算を繰り越して支出できるものです。

◇一般会計◇

個人番号通知・個人番号カード交付事業、東刈谷幼稚園大規模改修事業など22件
繰越総額
23億1,322万8千円

単行議案

■訴えの提起について

一定期間、家賃等を滞納し、支払いに応じていない者に対して、市営住宅等の明渡し及び家賃等の支払いを求めるため訴えを提起します。

問 どのような基準で対象者を決めているのか。

答 滞納月数が6カ月以上かつ滞納額が20万円以上の者、及び滞納額が20万円未満であっても滞納月数が12カ月以上の者で、納付意思が認められない者を対象者としている。

問 3月末時点での対象者は、15人である。

問 15人の中から、今回4人を訴えの提起の相手方とした理由は何か。

答 対象者全員に内容証明付郵便で明渡し請求を行ったところ、11人から滞納家賃を払う誓約と納付計画が提出されたため、この11人を除く4人を訴えの提起の相手方とした。

■工事請負契約の締結について（日高保育園大規模改修（建築）工事）

問 保育園に夏休みはないが、工事をどのように進めていくのか。

答 保育園が、日高幼稚園に近接していることから、幼稚園の夏休み期間中に保育室を借りることとしている。また、保育

園の園庭に仮設園舎を建設し、職員室、調理室、不足分の保育室を確保することで、工事を進めていく予定である。

問 工事中の園児の外遊びや運動会はどうするのか。

答 外遊びは近接の日高幼稚園、日高小学校、公園等の利用を考えている。また、運動会は日高小学校の体育館で行う予定である。

条例議案

■刈谷市税条例の一部改正について

問 軽自動車税に関する改正内容はどのようなものか。

答 環境性能に優れた軽自動車の税率を軽減する「グリーン化特例」の対象となる軽自動車の環境性能の見直しを行うとともに、平成31年度課税分までの2年間、制度を延長する。

問 固定資産税の課税標準の特例割合を条例に定める理由は何か。

答 家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業に関する特例割合は地方税法に規定されていたが、軽減割合を一定の範囲内で条例で定めることとなったため、地方税法に規定されていた割合と同じ割合を条例に規定するものである。

■刈谷市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険税の軽減制度における所得基準額を改め、軽減世帯の拡充を図る。

問 今回の見直しで、5割及び2割軽減の対象世帯数はそれぞれどのように変わるか。

答 平成28年度の状況で試算した場合、5割軽減の対象世帯数は、1,731世帯から1,

761世帯となり、30世帯増加する見込みである。また、2割軽減の対象世帯数は、1,831世帯から1,901世帯となり、70世帯増加する見込みである。

●軽減措置を拡充するもの（平成29年度課税から）

(1) 5割軽減の対象となる世帯

改正前	33万円+26.5万円×被保険者数
改正後	33万円+27万円×被保険者数

(2) 2割軽減の対象となる世帯

改正前	33万円+48万円×被保険者数
改正後	33万円+49万円×被保険者数

※金額は軽減対象となる世帯の所得基準額（世帯の合計所得）

問 条例改正による、国民健康保険税の軽減総額と市への影響は。

答 軽減総額は、平成28年度の状況で試算すると、約2億8,040万円から約2億8,307万円となる。保険税収は約2億6,700万円の減収となるが、国民健康保険法の規定で、減収分のうち、県が4分の3、市が4分の1を負担することとなっているため、市の負担額は約67万円である。

■刈谷市立学校設置条例の一部改正について

刈谷市立刈谷特別支援学校を設置する。

問 保護者向けに開催された事前説明会の内容はどのようなものだったのか。

答 説明会では、児童生徒への教育内容、医療的ケアの実施体制、児童生徒の受け入れ時間、

今後の教育相談などについて説明をした。

問 医療的ケアの体制が非常に重要だが、看護師不足と言われる中、どのように看護師を確保するのか。

答 看護師を直接雇用するのではなく、市内の医療機関の看護師が学校内に常駐し、医療的ケアを実施する体制を整える。このことにより、安定した看護師の確保を図る。



平成30年4月の開校を予定（特別支援学校イメージパース）

補正予算議案

補正予算議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、市民文教の各分科会で審査されました。

6月29日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果を各分科会委員長より報告を受けました。

補正する額（一般会計）

2,509万7千円

補正後の予算総額（一般会計）

574億7,509万7千円

補正後の予算総額（全会計）

915億7,466万1千円

【主な事業】

○青山斎園利用者の利便性の向上を図るため、土地を借り上げ、駐車場を整備します。

1,874万9千円

問 現在の駐車可能台数と今回の整備により増設される台数は何台か。また、今回の整備で駐車場不足は、解消されるのか。

答 青山斎園には、現在、合計139台の駐車場があり、今回、約50台の駐車場を整備する。斎場の席数は、合計200席であり、今回の整備で、利用者による交通渋滞などがおおむね解消されると考えている。

○バスケットボール女子日本代表の国際強化試合をウイングアリーナ刈谷で開催します。

187万3千円

問 バスケットボール女子日本代表国際強化試合を開催するに至った経緯は。

答 本市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでのバスケットボール競技出場国の事前キャンプ地の誘致活動を行っており、誘致に向けウイングアリーナ刈谷をさらに国内外にPRするため、日本バスケットボール協会へ国際試合の開催を要請していた。協会からは、ウイングアリーナ刈谷が国際試合を開催するのにふさわしい施設であると評価され、今回の開催が実現した。

陳情の結果

今回市民の皆さん等から提出された陳情4件は、関係する委員会でも審査された結果、いずれも不採択となりました。

▼憲法をいかにして働く者の権利を守ることを求める陳情

▼たばこ税増税に関する意見書の提出を求める陳情

▼子どもが3人以上いる世帯の高校生の医療費（通院・入院）の無料化を求める陳情

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

- ・損害賠償の額を定める専決処分について 了承
- ・刈谷市土地開発公社経営状況について 了承
- ・平成28年度刈谷市一般会計継続費の繰越しについて 了承
- ・平成28年度刈谷市一般会計繰越明許費の繰越しについて 了承
- ・専決処分について(刈谷市条例の一部を改正する条例) 承認
- ・専決処分について(刈谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例) 承認
- ・農業委員会委員の選任について 同意
- 【企画総務委員会関係・3議案】
 - ・刈谷市職員退職手当支給条例の一部改正について すべて可決
 - ・刈谷市条例の一部改正について すべて可決
 - ・刈谷市都市計画条例の一部改正について 可決
- 【福祉産業委員会関係・1議案】
 - ・刈谷市国民健康保険条例の一部改正について 可決
- 【建設委員会関係・2議案】
 - ・訴えの提起について(市営住宅明渡し等請求事件) すべて可決
 - ・工事請負契約の締結について(下重原住宅1期増築等(建築)工事) すべて可決
- 【市民文教委員会関係・7議案】
 - ・工事請負契約の締結について(東刈谷幼稚園大規模改造(建築)工事) すべて可決
 - ・工事請負契約の締結について(日高保育園大規模改造(建築)工事) すべて可決
 - ・工事請負契約の締結について(小高原小学校北舎大規模改造(建築)工事) すべて可決
 - ・工事請負契約の締結について(富士松中学校他1校空調設備設置工事) すべて可決
 - ・工事請負契約の締結について(刈谷南中学校他1校空調設備設置工事) すべて可決
 - ・刈谷市立学校給食センター条例の一部改正について 可決
 - ・刈谷市立学校給食センター条例の一部改正について 可決
- 【補正予算関係・1議案】
 - ・平成29年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)(※) 可決

農業委員会委員の選任について

平成29年7月29日の任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。任期は3年です。

農業委員会委員

- 永田 憲正氏(東境町) 加藤 保広氏(高須町)
- 早川 法江氏(西境町) 早川 彰洋氏(泉田町)
- 神谷 幹成氏(松坂町) 近藤 庄次氏(西境町)
- 山田 友樹氏(井ヶ谷町) 塚本 忠氏(今川町)
- 稲垣 定夫氏(野田町) 近藤 利徳氏(小山町)
- 二宮 偉吉氏(一ツ木町) 加藤 明氏(半城土町)
- 伊藤 千春氏(小垣江町) 杉本 常男氏(高松町)

6月定例会提出議案の賛否について

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 -：欠席)



議案名及び議決結果	会派名及び議員名	真政クラブ					市民クラブ					自民クラブ		公明クラブ		日本共産党議員団		清風クラブ		議長(※)		副議長								
		渡邊 妙美	外山 鉦一	清水 俊安	鈴木 正人	加藤 廣行	稲垣 雅弘	山崎 高晴	鈴木 浩二	伊藤 幸弘	黒川 智明	佐原 充恭	中嶋 祥元	山内 智彦	加藤 賢次	鈴木 絹男	神谷 昌宏	蜂須賀信明	松永 寿	白土美恵子	櫻谷 勝		新井 健治	野村 武文	山本シモ子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	前田 秀文	加藤 峯昭
平成29年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○

※議長は、採決に加わりません。

委員会の動き

委員会では、議案、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

刈谷市まちなかマネジメント構想(刈谷市駅、亀城公園周辺エリア編)

【問】構想に示された取り組みはどのように進められるのか。

【答】本構想も踏まえ、今年度「中心市街地まちづくり基本計画」を策定しており、その中で今後の基本的な整備方針を示したいと考えている。

【問】刈谷球場を移転させる方針があるのか。

【答】移転方針は決まっていないが、将来、改築の際は現地で再築か移転改築も含めて検討する必要があると考えている。

【問】その他「働き方の課題」「普通財産の管理」「大規模鉄道災害の対応」などが話し合われました。

【答】平成27年度が112件、28年度が180件で、家族や親族からの相談が多い状況である。

【問】社会福祉法人やNPO法人が成年後見人となる法人後見制度について、本市の状況は。

【答】法人後見は、社会福祉協議会の自主的な事業として、平成27年4月から開始している。

【問】その他「中小企業支援」「国民健康保険広域化」「農業支援事業」などが話し合われました。

【答】体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

建設委員会

耐震シエルター設置費補助制度

【問】耐震シエルター設置費補助制度とは、どのような制度か。

【答】災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルターを設置する場合、上限30万円を補助するものである。

【問】これまでの補助実績は。

【答】制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】その他「生産緑地」「水道ビジョン」「水道料金の滞納件数」

「人にやさしい街づくり推進補助事業」などが話し合われました。

【問】プラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は。

【答】平日に市内の児童生徒に対して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【答】体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。

【答】その他「英語指導助手(ALT)」「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

一般質問

市政のつとを問う

この定例会では、6月14日から16日の3日間、17人が登壇し、36項目にわたり、市政全般についてたまただ一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順） ※が掲載した項目です。

- 野村 武文 議員 ※1 高齢者福祉の現状と今後について
- 歴史博物館の方向性について
- 白土 美恵子 議員 ※2 肝炎について
- 子ども・若者支援について
- 障害者福祉について
- 山内 智彦 議員 ※3 刈谷市発展の将来像について
- 刈谷市の交通安全対策について
- 中嶋 祥元 議員 ※1 18歳まで医療費無料化の拡大について
- 特定外来生物について
- 新海 真規 議員 ※3 消防団員の確保について
- 待機児童について
- 山本 シモ子 議員 ※3 保育を取り巻く諸問題について
- 住宅リフォーム助成制度の実施について
- 伊藤 幸弘 議員 ※2 平和行政施策の向上について
- 中心市街地居住者の駐車場について
- 稲垣 雅弘 議員 ※1 「愛知子ども調査」の結果と就学支援の拡充について
- 勤労者支援について
- 清水 俊安 議員 ※3 官民連携プラットホームづくりについて
- 南部地区の拡大市街地について
- 蜂須賀 信明 議員 ※1 刈谷市の防災・減災対策について
- 刈谷市の待機児童対策について
- 黒川 智明 議員 ※1 自転車道の整備について
- 星野 雅春 議員 ※2 医療・看護・介護について
- 博物館建設について
- 外山 鉦一 議員 ※3 学校司書配置について
- 不燃物埋立場の現状と跡地活用について

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

野村 武文 議員

国民健康保険税の1人1万円引き下げ

法定外繰り入れをすでに行っており、引き下げは考えていない

問 国民健康保険加入者の65歳以上の割合と職業構成はどのように変化してきているか。

答 65歳以上の割合は、後期高齢者医療が開始された平成20年度が31.3%、27年度が41.7%と約10ポイント増え、職業構成は給与所得者、営業等所得者の割合が減り、年金所得者の割合が増えている。

問 国民健康保険制度の改正に伴い県も保険者となるが、県と市の役割はどのようになるか。

答 県は、平成30年度から市が納める国保事業費納付金の決定や標準保険料率の算定を行う。市は、引き続き保険給付や国保税の課税、特定健康診査など、地域におけるきめ細やかな事業を担う。

問 県が示す標準保険料率は市の税率決定を事実上拘束する恐れはないか。

答 当面は、市が税率を決定

白土 美恵子 議員

小中学校にスクールソーシャルワーカーの配置を

県に対して人材確保・人材育成を進めるよう訴えていく

問 近年、不登校対策として学生を活用した取り組みを行っている自治体が増えている。近隣の碧南市では「小中学校ハーフトフレンド派遣事業」を実施し、成果をあげている。概要は、不登校等の問題を抱える児童生徒のための相談員として教員志望の大学生等を活用し家庭訪問や学習支援などを行い、児童生徒の学校復帰を目指すものである。本市での取り組みはどのようになっているか。

答 現在、本市では県の事業である「ホームフレンド」を活

(主な答弁者：・福祉健康部長)



国民健康保険制度の改正に注目

問 一般会計からの法定外繰入金を増額して、国民健康保険税を1人1万円引き下げる考えはないか。

答 1人当たり1万円の引き下げを行うには、現在の被保険者数から計算すると、さらに3億円の費用が必要になる。法定外繰入金は、被保険者1人当たり概ね1万円の繰り入れを既に

行っており、さらなる引き下げについては考えていない。

山内 智彦 議員

将来人口16万人のまちづくりに向けて着実な準備を

各種施策を推進し、住むまちとして選択されるよう努める

問 人口ビジョンは、まちづくりを進める際の土台になると認識しているが、市の見解は。

答 市としても人口の将来ビジョンを見通して、施策や事業を組むことが大切と考えている。

問 現時点で市が抱えている課題は何か。

答 人口推移の特徴として、30〜40歳の子育て世代に転出超過傾向がある点である。子育て世代の転出を抑制するために住居系拡大市街地の整備等を実施する。2040年に人口16万人を達成し、人口減少が進む2060年においても人口16万人の維持を目指す。

問 2040年や2060年はまだ先のように感じられるが、それほど余裕はない。その時に手遅れにならないよう着実に発展していく必要がある。刈谷は縦長の地形であるため市を横断する既存の鉄道網に対し、新たに

中嶋 祥元 議員

防犯カメラなどをさらに効果的に活かし防犯力強化を

設置エリアを示す看板など犯罪抑止力を高める取り組みを推進



児童のサポートの充実を

クルカウンセラーや心の相談員などを導入して、子どもを取り巻く課題に取り組んできた。しかし、学校内だけでは十分に対応できない状況もあることから、学校外に出て支援することが出来るスクールソーシャルワーカーとの連携が必要であると考える。本市ではスクールソ

シヤルワーカーの配置についてどのように考えているか。

答 さまざまな問題が複雑化している現状から、スクールソーシャルワーカーの必要性は強く感じている。県に対して、人材確保・人材育成を進め、各市町村に配置してもらえるよう訴えていく。

山内 智彦 議員

将来人口16万人のまちづくりに向けて着実な準備を

各種施策を推進し、住むまちとして選択されるよう努める

問 人口ビジョンは、まちづくりを進める際の土台になると認識しているが、市の見解は。

答 市としても人口の将来ビジョンを見通して、施策や事業を組むことが大切と考えている。

問 現時点で市が抱えている課題は何か。

答 人口推移の特徴として、30〜40歳の子育て世代に転出超過傾向がある点である。子育て世代の転出を抑制するために住居系拡大市街地の整備等を実施する。2040年に人口16万人を達成し、人口減少が進む2060年においても人口16万人の維持を目指す。

問 2040年や2060年はまだ先のように感じられるが、それほど余裕はない。その時に手遅れにならないよう着実に発展していく必要がある。刈谷は縦長の地形であるため市を横断する既存の鉄道網に対し、新たに

中嶋 祥元 議員

防犯カメラなどをさらに効果的に活かし防犯力強化を

設置エリアを示す看板など犯罪抑止力を高める取り組みを推進

問 平成26年から27年にかけて、自動車関連窃盗は約50%、住宅関連窃盗では約10%程度の減少が見られるが、どう分析しているか。

答 夜間防犯巡回パトロール

台数の増加により、夜間に発生しやすい車上ねらいの件数が減少している。また、各地区への防犯カメラの設置により、住宅を対象とする侵入盗などの犯罪が減少したものと考えている。



住むなら「刈谷！」

鈴木 正人 議員

※1 熊本地震を受けた災害対策について
2 防犯対策について

上田 昌哉 議員

1 外国人の子どもの学習支援について
2 放課後等デイサービスについて
※3 刈谷ハイウェイオアシスについて

渡邊 妙美 議員

※1 刈谷市共存・協働のまちづくりについて

問 防犯カメラの設置について、地区の要望だけでなく、警察や専門家の意見を取り入れ、行政が主体となり場所を選定し

てはどうか。

答 今年度、これまでの各地区内の設置状況について警察と精査しており、現在、地区と設置場所の選定を進めている。

犯罪抑止力の効果を一層高めるため、カメラの設置エリアであることを強調する看板やステッカーの配置を進めている。さらに防犯グッズを体験できるキャンペーンを開催するなど、従来よりも防犯意識を高めていけるような啓発にも努めていく。



見逃さない！地域の安全守ります！

新村 健治 議員

(主な答弁者・・・福祉健康部長) 子育て世代応援のために18歳まで医療費の無料化を

市民の保険料が値上げされる可能性があるため実施しない

問 近年の子ども医療費の助成額はどのように推移しているか。

答 平成25年度は約6億9,363万円、26年度は約7億736万円、27年度は約7億4,853万円と推移している。

問 市は中学生までの医療費無料化を実施しており、大変喜ばしい。しかし、現在は高校進学率が高いため、医療費無料化を18歳までに拡大するべきである。仮に医療費無料化の拡大を実施した場合、対象者は何人か。また必要経費はいくらになるか。

答 新たに対象となる人は約4,600人と見込まれる。また、平成28年度の子どもの医療費助成における1人当たりの支給実績から試算すると、市は3割



医療費無料化の拡大を

を負担する必要があるため、市として必要となる経費は年間で約1億9,000万円となる。

問 医療費無料化の拡大は市の財政力を考慮すれば可能であると思われるが、実施する考えはあるか。

答 本市の財政負担が増加するだけでなく、医療費無料化の

新海 真規 議員

(主な答弁者・・・生活安全部長) 女性の消防団員を確保するために市独自で女性消防団の設置を

地域に根ざした活動を行うため既存の分団で活動いただく

問 刈谷市内の消防団の団員数と平均年齢は、どのように推移しているか。

PRに活用いただく。

答 10年前の平成19年度は416人で29.1歳、5年前の24年度は379人で29.8歳、29年度は361人で31.6歳である。

問 女性消防団員を確保するため、市独自で女性消防団を結成し、教育を行った後に各分団に配置していただくか。

問 団員数の減少と高齢化が進んでいる。消防団を応援するあいち消防団応援の市の市内の事業登録店舗数は何店舗か。

答 消防団には、地域で発生した火災の消火活動や防火啓発等、地域に根ざした活動をしていただくことが最も重要であると考えているため、新たに女性消防団を設置するよりも、現在活躍している5人の女性団員のよう

問 あいち消防団応援の店事業以外で団員を確保するために取り組んでいることはあるか。

答 消防団には、地域で発生した火災の消火活動や防火啓発等、地域に根ざした活動をしていただくことが最も重要であると考えているため、新たに女性消防団を設置するよりも、現在活躍している5人の女性団員のよう

問 学生等消防団活動認証制度を実施している。内容は、真摯かつ継続的に消防団活動に取り組む、地域社会へ多大な貢献をした学生に対し、市が証明書を発行するものであり、就職活動の提出資料などとして、自己



地域に根ざして安心なまちに

山本 シモ子 議員

(主な答弁者・・・総務部長) 非核自治体宣言をし、平和行政の推進を

平和首長会議への加盟で核兵器廃絶の思いは伝えられている

問 核兵器禁止条約制定に向けた国連会議を、唯一の被爆国である日本政府が欠席した。このことをどう認識しているのか。

果だと考えている。

答 条約は意義あるものと考え、高度な判断がされた結果、折り紙を折ることや、ヒバクシヤが訴える核兵器廃絶国際署名の用紙を展示室の隅でいいので設置することを検討してはどうか。

問 原爆パネル展を年2回以上開催すること、また、折鶴を折り紙を設置することや、ヒバクシヤが訴える核兵器廃絶国際署名の用紙を展示室の隅でいいので設置することを検討してはどうか。

署名の用紙を展示室の隅でいいので設置することを検討してはどうか。

問 PTA総会などで展示を実施するなど、親子で一緒に学ぶ機会を学校で企画しては。

セージが寄せられたことは行進団を大きく励ました。平和首長会議に加盟した刈谷市だから、非核自治体宣言を制定するべきと考えるがどうか。

答 広島に原爆が投下された日から終戦日までを開催期間としている。また、来庁者の動線を確保する観点から署名用紙や折り紙の設置は考えていない。

問 本市では引き続き平和行政に取り組んでいくが、宣言を制定する考えはない。

問 6月3日、平和行進の受け入れに際し、市長よりメッセージ

答 刈谷市駐車場整備基本計画を策定しており、都市交通課が所管している。この計画は、中心市街地への来訪者等用の駐車場整備を主な目的としており、居住者の駐車場は個人で手配するものと考えているため、その充足状況は把握していない。

伊藤 幸弘 議員

(主な答弁者・・・都市政策部長) 中心市街地居住者の駐車場不足を解消する仕組みづくりを

住み良い生活環境を確保するための施策を検討していく

問 本市はコンパクトシティを目指し、中心市街地における土地の高度利用として、分譲マンションの建設を推進している。一方で、快適に生活するために、車は必要不可欠である。過去3年間の中心市街地での20戸以上の分譲マンションの建設件数と、分譲戸数に対する駐車台数は。

問 駐車場の不足の対策として、空き家の土地利用が有効と思われるが、市の考えは。

答 分譲マンションの建設件数は4件である。当該マンションの総戸数は212戸であり、総駐車台数は220台であることから、1戸あたりの駐車台数は1.03台である。

問 さらに分譲マンションが建設されれば、中心市街地での駐車場不足が顕著になると考えられる。マンション建設に当たり、周辺駐車場の補完状況を把握しながらまちづくりを推進するべきではないか。本市の駐車場整備計画の現状と所管部署は。

答 国や県の動向や他市の事例などを注視しながら、調査研究を進めていく。



毎年開催される原爆パネル展



駐車場不足の解消を

稲垣 雅弘 議員
官民連携のプラットフォームの構築を
 ―国の情勢を注視し、最適な運営方法を検討していく―

(主な答弁者：…企画財政部長)

問 刈谷市公共施設等総合管理計画には、「PPP」手法による民間活力を取り入れ、行政と企業・金融機関等が連携した公共サービスを提供する取り組みの検討が記載されている。本市において、施設の維持・管理・運営面でのPPPの導入実績はあるか。

答 給食調理業務等の様々な分野で業務委託を実施している。また、情報発信施設である刈谷ハイウェイオアシス内のオアシス館刈谷をはじめ、67施設に指定管理者制度を取り入れ、多様化する行政需要に対応している。

問 指定管理者制度の導入効果として、経費の節減が目される。一方で、施設管理に関連する法規制など利活用上の制約があり、民間業者のノウハウが生かされていないと考える。施設のポテンシャルを生かして効率的・効果的な運営をしていくために、企業・大学・金融機



企画・立案から民間活力を取り入れ、より魅力ある施設に (オアシス館刈谷)

清水 俊安 議員
小垣江町北部地区の市街化実現を
 ―早期実現に向け、土地区画整理事業による整備手法を検討―

(主な答弁者：…都市政策部長)

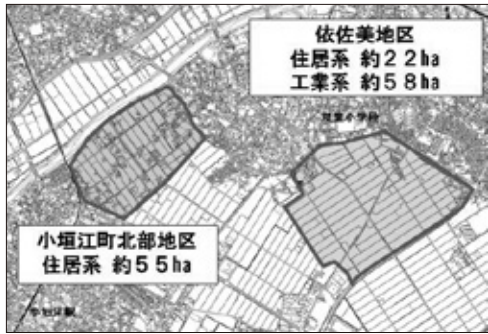
問 南部地区の住居系拡大市街地は、どこに位置づけられ、どのぐらいの規模か。

答 小垣江町北部地区の約55ヘクタールと依佐美地区の約22ヘクタールになる。

問 小垣江町北部地区、依佐美地区は、それぞれどのような農地か。

答 小垣江町北部地区は、農用地域外の農地いわゆる白地、依佐美地区は、農用地域内の農地いわゆる青地である。

問 小垣江町北部地区では、



南部地区の拡大市街地

今後も住宅の建設が想定されるが、市の見解は。

答 住民の安全・安心につながる基盤施設が不足していると考えられるため、なるべく早い時期に住宅地としてふさわしい都市基盤の整備に着手することが必要であると考えている。

問 小垣江町北部地区と依佐美地区の整備の優先順位は。

答 農地にかかわる規制や現在の土地利用状況から判断し、白地である小垣江町北部地区を

蜂須賀 信明 議員
地域で活動する自主防災会に対し、さらなる補助制度の支援を
 ―地域の防災力向上を図るため、補助制度の見直しを検討する―

(主な答弁者：…生活安全部長)

問 地域の防災活動を推進する中で、防災用資機材の購入費の補助は欠かせないと考えるが、自主防災会に対する補助制度はどのような内容か。

答 自主防災会活動を支援する補助制度としては、自主防災事業補助制度があり、防災資機材の整備経費を補助する防災資機材整備事業をはじめとした3種類の補助を設けている。また、補助率はいずれも5分の4で、それぞれに限度額が設けられている。

問 地区の人口に関わらず補助額が一律ということだが、地区の実情についてはどのように考えているか。

答 自主防災会により資機材等の整備状況や活動状況に差があることや、地区の世帯数や規模により必要な資機材や自主防災倉庫等の整備に時間を要するといった課題を認識している。

問 地区の実情に応じた防災

黒川 智明 議員
自転車道の現状を把握し、利用者目線で整備の推進を
 ―自転車、歩行者、自動車とともに安全に利用できる空間を創出していく―

(主な答弁者：…都市政策部長)

問 刈谷市都市交通戦略に記載のある自転車ネットワークを整備するには、平成24年11月に

策定され、28年7月に改訂された国の「安心で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に従

優先的に進める予定である。

問 小垣江町北部地区の現在の状況と今後の取り組みは。

答 現在、個別相談や勉強会を重ねている。公平性の観点から土地区画整理事業が望ましいと判断しており、事業化に向けては、権利者同士の合意形成が重要であるため、関係権利者などで組織するまちづくり協議会などの発足も視野に入れている。

問 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

答 補助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

問 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

答 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

問 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

答 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

問 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

答 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

問 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。

答 自助制度を地区の実情に応じた活用しやすい制度とするため、各自自主防災会に対して、現状の補助制度の課題等についてのアンケート調査や今年度開催の自主防災推進会議で各自自主防災会長の意見・意向も聞いていく予定である。



自主防災会の避難訓練の風景

い、見直しを図る必要がある。ガイドラインは、自転車通行空間の整備形態の考え方を3種類示しているが、本市の整備計画には、これに該当しない路線もあると考えている。この対応はどうするのか。

答 自動車の走行速度や交通量といった交通状況により、自転車道、自転車専用通行帯、車

問 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

答 自転車、歩行者、自動車とともに安全に利用できる自転車走行空間の創出が大変重要であると認識している。今後も引き続き、警察、地元、道路管理者、隣接自治体などの関係機関と連携を図り、事業の推進に努めていく。

問 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

答 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

問 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

答 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

問 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

答 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

問 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。

答 自転車を安全に利用することのできる環境を整備することだが、自転車ネットワークの狙いであると考えている。現在の整備状況を把握し、利用者目線で整備を進める必要がある。このことをどう考えているのか。



安全に利用できる通行環境を

星野 雅春 議員
歴史博物館と他施設を連携し、魅力の相乗効果を
 ―施設間の連携に加え、学校やボランティア団体との連携も図る―

(主な答弁者：…市民活動部長)

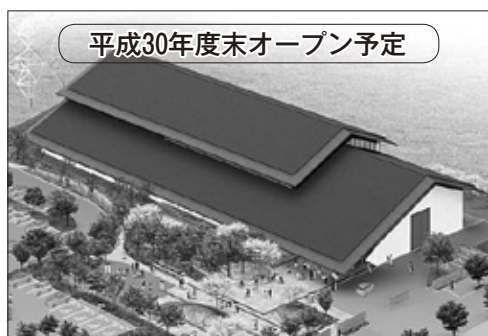
問 歴史博物館にミュージアムショップや飲食スペースなどの付帯施設はあるのか。

答 来館者がくつろぐことのできるスペースやグッズ・図録の販売コーナーを設ける予定である。なお、飲食スペースは、貴重な文化財を保存管理する歴史博物館においては、館内に設けている例はほとんどない状況である。文化庁による公開承認施設の認定を目指している本市の歴史博物館においては、文化庁からの指導もあり、館内に飲食スペースを設ける予定はない。

問 条例制定の予定は。

答 施設の趣旨や名称、業務、休館日等を規定する条例を制定する予定である。

問 職員の配置計画はどのような



市の歴史に親しみ、学ぶことのできる拠点

ついているか。

答 貴重な文化財を未来に継承するため、効率性、安定性、継続性を考慮した職員配置として、時代や社会状況の変化に応じた柔軟な管理運営と活発な事業展開ができる環境を整える。

問 他施設との連携は、どの

ように考えているか。

答 歴史や文化に親しみ、学べる環境を作るには、郷土資料館や依佐美送信所記念館などの施設と連携した取り組みが必要

外山 鉦一 議員

不燃物埋立跡地の「緑地公園」活用で、憩いと賑わいの創出を

―不燃物埋立跡地活用検討委員会の設置を検討する―

問 本市の不燃物埋立跡地には4つの埋立場がある。総面積は約10万㎡で港町グラウンドの約3.25倍となる広大な敷地である。その内、第1不燃物埋立場（約2万㎡）は埋め立てを終え、覆土工事も完了し更地となっている。廃止に向けた今後の計画はどのようなになっているか。

答 平成29年3月に埋め立てを終了したため、県に埋立終了届を提出し、現在は、廃止に向けて埋立場から出る浸出水の検査等を行っている。最遅で平成31年度当初に廃止届が提出できる。

問 埋立場設置届出時の基本計画書では、跡地活用は「レジャー施設を備えた緑地公園」としている。法規制及び中部電力高圧線による制約条件はあるか。

答 当初の計画より不燃物埋立容量が増加したため、高圧線との距離が近くなり、跡地利用については再度検討が必要となる。

鈴木 正人 議員

熊本地震の教訓をいかした避難所への輸送体制の強化を

―地域防災計画の修正や協定の締結など、体制強化を進める―

問 熊本地震の教訓を受け、今後、地域防災計画にどのような修正を行う予定か。

答 愛知県地域防災計画の内容に抵触することのないよう、県の計画の修正にあわせて毎年見直しを行っている。県は、熊本地震の課題検証報告を踏まえ、平成29年5月末に愛知県地域防

である。また、企画展やイベント、講座等の開催においては、施設間の連携はもとより、学校、ボランティア団体等とも連携を図っていく予定である。

(主な答弁者：産業環境部長)

問 跡地活用に向け、「不燃物埋立跡地活用検討委員会」の設置の考えはあるか。

答 27万ボルトの高圧線が通っていることにより、中部電力との協議が必要となる。現時点においては、高圧線下に建造物を構築しない公園の設置については特に問題がないとの見解をもらっている。

問 ごみ減量化推進会議において委員会の設置を含め検討していく。



跡地の有効活用を（第1不燃物埋立場）

(主な答弁者：生活安全部長)

問 災害時の輸送体制の強化を

災害時の輸送体制の強化を、主要な修正事項として、「市長会や町村会との連携による災害時応援体制の強化」や「支援物資の円滑な受援供給体制の整備」

「車中・テントなどでの避難生活に余儀なくされる住民への支援」などが挙げられる。本市の地域防災計画についても、県の

計画との整合性を図りながら、同様の修正を行う予定である。

(主な答弁者：生活安全部長)

問 熊本地震では救援物資が各避難所に届かないことが大きな課題であったが、救援物資を刈谷市総合運動公園から市内の避難所に輸送する方法をどのように考えているか。

答 刈谷市総合運動公園から市内の避難所への輸送については、市災害対策本部の輸送班の職員が行うことになっている。また、救援物資輸送の課題については、平成29年1月に、愛知県トラック協会西三支部刈谷部会と「災害時における物資の緊

急輸送に関する協定」を締結するなど、本市においても、災害時における輸送体制の強化を進めている。



物資輸送トラック（イメージ）

上田 昌哉 議員

刈谷ハイウェイオアシスの魅力アップに向けた取り組みを

―施設の充実を図り、魅力と話題性のあるイベントを開催する―

問 新たなサービスエリアやパーキングエリアが整備され、ライバルが増える中、魅力ある刈谷ハイウェイオアシスにするための考えは。

答 これまでも、本市とハイウェイオアシス株式会社連携して魅力ある公園運営に努めており、近年ではミニ自動車「かも・かもポッポ」やベビー休憩室、防犯カメラを設置した。また、民間施設ではセントラルプラザのリニューアルやトイレの設置などを行っている。ソフト面では、市民参加によるイベントの開催や市内外の観光PRなど、活気ある公園運営に努めている。これからも、施設の充実を図るとともに、魅力と話題性のあるイベントを開催していく。

(主な答弁者：都市政策部長)

問 魅力向上のためにドッグランを設置してはどうか。

答 リードを付けたままの利用になるが、セントラルプラザのオープンテラスでペットと同

急輸送に関する協定」を締結するなど、本市においても、災害時における輸送体制の強化を進めている。



ペットとのひとときを（わんさかランド）

渡邊 妙美 議員

刈谷のためにと寄附した市民の思いの還元・具現化を

―今後まちづくり活動に対して積極的に支援をしていく―

問 共存・協働のまちづくりを進めていくに当たり、「人材育成」「財政支援」「行政サービスへの市民参画」「主体同士の交流・協力」などの重点課題があることだが、「財政支援」の具体的な内容は。

答 財政支援として、かりや夢ファン্ডを実施している。本制度は刈谷のまちを良くしていくための自主的な活動を応援し、市民主体で解決する力を育んでいくことを目的とした制度である。市民の寄附金額と同額を市からも支出し、市民の寄附金と共に基金に積み立てるマッチングギフト方式を採用している。積み立てられた基金を財源とし、補助をしている。

問 かりや夢ファン্ডにはどのような補助メニューがあるのか。

答 「NPO法人設立支援」、NPO法人等が行う事業に対する「まちづくり活動支援」、意



かりやのまちを良くする活動を応援（かりや夢ファン্ড公開審査会）

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを出すことが禁止されています。

禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同



葬式等の花輪、供花



本人が出席しない場合の結婚祝



本人が出席しない場合の葬式の香典



お中元 お歳暮



入学祝 卒業祝



病気見舞



町内会の集いや旅行などへの寄附や差入



お祭りへの寄附や差入

特集

議会を楽しく学ぼう♪♪

かりやっこページを解説

検索

さあ!!今すぐアクセス



議会についてイラストを使って紹介

議会について勉強する市内の中学3年生
※市内中学校の生徒を招いて議会の仕組みを説明

議会を学ぶDVD教材

市議会ってどんなところ?

議会とは

議会の仕事

議会の仕組み

議会用語

議場見学

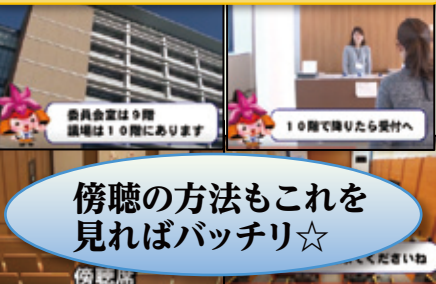
議会クイズ

これを見れば議会マスター!!
動画で議会を紹介
(議会を学ぶDVD教材)

国会や三権分立などの仕組みは
首相官邸のホームページでも
勉強できる

議会フロアを動画で紹介

クイズの難易度は2種類
※ランダムで5問を出題



傍聴の方法もこれを見ればバッチリ☆

ものしりクイズ (全55問)

Q. 市議会議員を選挙で選ぶことができるのは何歳から?
①18歳 ②20歳 ③25歳

学校の勉強にも使えるよ

マニアッククイズ (全20問)

Q. 市議会議員選挙が7月に執行される発端となった問題は?
①中学校建設問題
②小学校建設問題
③高等学校建設問題

全問正解で賞状ゲット!!

議会トピックス

■刈谷市議会災害対応マニュアルを策定しました

○策定の目的
東日本大震災や熊本地震など、全国各地で自然災害による大きな被害が発生している中、本市においても南海トラフ巨大地震や大型台風などの発生が懸念されています。大規模災害発生時に議会が担う役割を明確にし、市と協力・連携して、災害対応に当たるために、本マニュアルを策定しました。



刈谷市議会災害対応マニュアル

■書画カメラ及びフリップの活用で、よりわかりやすく

平成29年6月定例会から一般質問の内容をわかりやすくするため、書画カメラ及びフリップを使って資料を提示することができるようになりました。
書画カメラとは、手元にある資料を壁などに映すことができ、傍聴者から見て右側の壁に映像を投射します。
今定例会では合計8名の議員が書画カメラを使用し、写真・図面・統計データなどを提示しながら、市に対して質問を行いました。

○議会の役割
議会は、市の議決機関として、大規模災害発生などの非常時においても、その機能を維持することが求められます。
具体的には、災害関連予算などの市の方策が市民にとって最善の内容であるかを迅速に審議して決定します。また、市民への情報提供や、集約した被災情報に基づき市や国・県等に復旧・復興に関する要望や提言を行うなど、市民と行政を結びつける役割を担います。



書画カメラを活用した一般質問

編集後記
くかけはし

◆「か」 刈谷市は1950年4月に市制施行、今年が68年目です。終戦後の激動期、高度経済成長期、バブル期などを経て、先人の方々の思いが形となり現在の刈谷市があります。今定例会において「刈谷市まちなかマネジメント構想 刈谷市駅・亀城公園周辺エリア編」が報告され、まちの現状を踏まえた上での10年から20年先の将来イメージが示されました。

◆「け」 懸念されるテロ事件によって世界情勢が不安になる一方、国内では、惜しくも30連勝とはなりませんでしたが、中学生棋士のデビュー後29連勝という破竹の連勝記録更新に沸きました。「未来への不安」と「未来への期待」が交錯する世の中ですが、「未来への期待」を常に大きく持っていたいものです。

◆「は」 初めて書画カメラやフリップの使用が認められた今定例会でした(詳細は上段を参照ください)。傍聴にお越しの際は、ぜひ感想をお聞かせください。また、「市議会だより」の紙面構成や内容の充実についても引き続き検討していきます。ぜひご意見をお寄せください。

◆「し」 四季が存在する日本の趣ある雰囲気は素晴らしいものです。しかし、最近夏と冬が長くなり、過ごしやすさ春と秋が短くなった感じで残念です。いよいよ夏本番、体調管理にはより留意し、素晴らしい日々をお過ごしください。

(議会広報委員会)